

第2回 松前町まちづくり女性会議

「輝くスマイルタウン・まさき～子育てしやすい松前町～」をテーマに、
皆さんからいただいた御意見は次のとおりです。

◆児童館・放課後児童クラブ等の子育て環境整備に関すること。

- ・孫は、松前町の児童館は利用しておらず、設備の良い近隣市町の児童館を利用している。松前町は子どもが増えてきても土日に遊びに行くところがない。
 - ・松前町の学童施設は、学校の教室の間借りをしている。学校という環境の中で子どもたちが本当にリラックスできているのか疑問である。特に松前校区は、早急に学童環境の見直しをしてほしい。
 - ・仕事を持つお母さんたちは、少しでも便利な保育所に行きたいと思うはず。以前は希望する保育所に入れていたが、今は希望する保育所には問題なく入所できているのか。
 - ・職場でも産休・育休を経て仕事復帰する人が増えているが、保育所入所待ちのために職場復帰が数ヶ月遅れたという人もおり、保育所の充実が必要だと思った。新しい保育所が出来るということなので、今後更に充実していったほしい。また、職場の同僚や上司の理解・協力も、働きながら子育てしていくためには大事なことだと思う。
 - ・新しく出来る保育所には、建物・遊具・質など全てにおいて魅力的な保育所になってほしい。
 - ・倉敷市では“赤ちゃんの駅”という授乳場所の提供をしているとのこと。近隣から遊びに来る赤ちゃん連れの方のために、オムツ替えやミルクのお湯を提供できるような空間を作れば、松前は子育てしやすい町だというアピールになり、住みたい町だと思ってもらえるのではないかな。
 - ・子どもが夏休みの間も母親が安心して働けるように、子どもの夏休み中の環境整備を考えてみてはどうか。
 - ・低所得家庭の中・高校生に無償で学習指導し、運営と奨学金を寄附金で賄っているというボランティアグループの紹介番組を見た。このように低所得家庭をサポートできるようなシステムがあると子育てしやすいと思う。
 - ・松前町の文化を高めるためにも本と親しむことは有効だと思うが、今の図書館は子どもが騒がないように気を使わなければならない。親子で本に親しむことができるスペースが、図書館や公民館にあればよいと思う。
 - ・図書館等の施設に、親しみを持ってもらえるような名前を付けるなどの工夫をしてはどうか。
 - ・事業所内保育所を作っている県内企業の新聞記事を見たが、松前町も事業所内保育所への支援をしていく必要があるのではないかな。
 - ・子育て環境が充実している半面、介護保険料がとても高い自治体もある。子育てと介護は離れているようでつながっており、住民全員で参加していくべき問題だと思った。子育てという面だけではなく、自分たちの一生や家族全員にとって松前町で暮らして幸せだと実感できるようなまちづくりをしていただきたい。
-

◆公園の整備・管理等に関すること。

- ・松前町には、子供がサッカーや野球などができるような公園が少ない。福德泉公園には多目的なグラウンドのようなスペースがあり、いろんな用途で使えてよいと思うが、知らない人が多いのではないか。
 - ・ひよこたん池公園は、遊具が少なく子どもが安全に遊べる公園だが駐車場が少ない。駐車場を広げればもっと利用が増えるのではないか。
 - ・公園の遊具などが老朽化しており、そのためか元気に遊ぶ子どもの姿が少ない。子どもが元気の外で遊べるような公園などの環境作りが必要だと思う。
 - ・筒井地区は、人が増えている割りに公園が少ないと感じる。ベビーカーを押して行ける近場の公園はなくなり、公民館にあった遊具も撤去された。遊具の設置は安全面で難しいのかもしれないが、シンボルとなるようなものを一つ設置するだけでも、子どもたちがそれを目印に集まるのではないか。
 - ・今の若いお母さんと昔の世代のお母さんとは、公園のあり方について考え方が変わってきていると思うので、どうすれば公園がこれから増えるのかなど、若いお母さんたちの意見も聞いて考えていければよいと思う。
 - ・子育て中の姉から、公園選びのポイントは、駐車場・衛生的なトイレ・子ども自身が気に入っているかどうかだと聞いた。松前公園は設備が充実しているので、子どもが楽しめるイベントがたくさんあるとよいのではないか。
-

◆子育て支援の情報発信に関すること。

- ・北公民館の中にある児童館は、児童館としてのPRができていない。児童館らしい何か分かるものを設置すれば、子どもが入ってきてくれるのではないか。
- ・子どもの出産の際に子育てに関する資料はもらったが、児童館についてはPRが全くなかったため、松前町に児童館があることを知らなかった。実際に児童館を見に行ったが、公民館は発見できるが、看板もなく児童館とは分からなかった。
- ・都会に比べると自然が豊かで子育てしやすいとは思ったが、自分が子育てしていた頃からハード面はほとんど変わっていない。変わっていないにしても、そのハード面をPRする努力が足りないのではないか。
- ・ファミリーサポートセンターを早くに立ち上げ、子育て支援センターも充実しており、子育てに関しては力を入れていると思うが、PR不足については考えるべきではないか。
- ・中学校まで医療費を無償にしてもらえるというのは、全国にも自慢できる制度だと思う。松前町は子育てしやすい環境であるということを、もっとアピールすべきだと思う。
- ・各校区に子どもたちの登下校を見守ってくれる“見守り隊”がある。そういった良いところをタブレット端末などの情報ツールなどを利用して、もっとPRしてほしい。
- ・学校独特の取組などを、学校のサイトを作って発信してはどうか。
- ・子どもの年齢別にターゲットを分け、遊びや飲食店・イベントなどが分かりやすく検索できるようなインターネットの情報サイトがあったら便利だと思う。
- ・情報発信と併せて、施設やセミナー・サークル等の利用者のクチコミを投稿できるようにすれば効果が増すと思う。

- ・「子育てマップ」の地図は、児童館と北公民館が別の建物のように見える。このような紛らわしい表記は修正してほしい。
 - ・「子育てマップ」の地図は、肝心の施設の場所が分かりづらい。公園や保育所・病院など用途別に分けて、分かりやすくしてはどうか。
 - ・子どもたちが見て行ってみたいと思えるような、子ども目線での「子育てマップ」を作ってはどうか。
 - ・パンフレット類は、ターゲットの目線で作らないと意味がないと思う。お母さんたちを巻き込んで、意見を取り入れたパンフレットを作ってみてはどうか。
 - ・現在のパンフレット類は、主にお母さん向けになっているようだが、お父さんやおじいちゃん・おばあちゃんも子育てに参加してもらえるような内容のものがあってもよいと思う。
 - ・母親のバックに入れて持ち歩けるような、小さいハンドブックを作ってはどうか。
 - ・松前町のパンフレットは、住所・電話番号が載っているだけなので、手に取って分かりやすいパンフレットにするために、施設の写真や、セミナー・サークルなどの内容が分かるような写真を掲載してはどうか。
 - ・「笑顔の種まきサポートブック」は、前半と後半部分は違う内容になっているが、内容が多くて後半部分まで読み進みにくい。別の冊子に分けた方がよいのではないか。
 - ・「子育てマップ」と「笑顔の種まきサポートブック」の編集年が2年ほど違うためか、子育て相談の部分だけでも若干情報が違っている。冊子の在庫の問題もあると思うが、統一してほしい。
 - ・子育てに関するパンフレット類は、出産後に渡しているとのことだが、母子手帳の申請時に渡してはどうか。出産前の方が読む時間があると思うし、妊娠時の悩み相談などのサービスも知ることができ、先々の安心感も増すと思う。
 - ・子育てのパンフレット類を見て、電話の連絡先が非常に多いと感じた。音声ガイダンスなどで振り分けられるようにしてはどうか。
 - ・相談窓口の電話をフリーダイヤルにして、気兼ねなく電話できるようにしてはどうか。母親はストレスや将来の不安など心配事が多いため、ちょっと話を聞いてもらうだけでもよいというときに、フリーダイヤルだと掛けやすくて有り難いと思う。
-

◆安全・安心なまちづくりに関すること。

- ・メインの通りは街灯が整備されて明るいですが、少し道を入ると街灯が少なくて危ない。新たな設置は難しいことだとは思いますが、街灯の整備について考えてほしい。
 - ・信号のない横断歩道が多いように思う。子どもが遊びから帰宅する時間は車の交通量が多く、急いで渡っている子どもの姿をよく見かけるので、子どもがよく通る横断歩道には、子どもに配慮してもらえるような標識等の整備を考えてはどうか。
-

◆地域資源の活用等に関すること。

- ・松前港から船を出して、海から松前町を見てもらうクルージングイベントを、家族向けPRとして実施してはどうか。
- ・エミフルに町内の名店を期間限定で出店して、PRしてみてもどうか。